

千葉大学病院で婦人科腫瘍疾患の治療・管理を受けた
患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年11月23日

産科・婦人科

産科・婦人科では、「進行卵巣がん・卵管がん・腹膜癌に対する毎週毎のパクリタキセル・カルボプラチニ土ベバシズマブ療法の臨床的奏効率と合併症の後方視的検討」に関する研究を行っております。今後の治療に役立てることを目的にこの研究では、毎週毎のパクリタキセル・カルボプラチニ土ベバシズマブ療法を受けた進行卵巣がん・卵管がん・腹膜癌の方の診療情報などを利用させていただきます。

以下に示す方の診療情報などを、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に診療情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2014年1月1月～2020年12月31日までに卵巣がん・卵管がん・腹膜癌のため当科にて毎週毎のパクリタキセル・カルボプラチニ土ベバシズマブ療法を受けた方

1. 研究課題名

「進行卵巣がんに対する extended weekly paclitaxel carboplatin 土bevacizumab 療法の臨床的奏効率と合併症の後方視的検討」

※

- ①extended weekly paclitaxel carboplatin 土bevacizumab（毎週毎のパクリタキセル・カルボプラチニ土ベバシズマブ療法）
- ②奏効率（抗がん剤により腫瘍が30%以上縮小した患者さん割合）

2. 研究期間

2025年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

毎週毎のパクリタキセル・カルボプラチニテバシズマブ療法をうけた方の背景情報（年齢、性別等）、副作用、5年無増悪生存期間、5年生存率を明らかにすることで今後の治療戦略について考察し、今後のより良い診断と治療の開発に関する研究を行います。

利用する情報は診療録から2014年1月1日～2025年10月31日までの情報を収集し、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換えた情報は倉敷中央病院に提供され、解析がおこなわれます。

氏名等と研究IDとの対応表は外部には提供されません。

本研究では、共同研究機関である倉敷中央病院は解析のみを行う機関として、患者さん情報の提供はありません。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている診療情報、血液検査、画像検査、治療法、治療効果等について調べます。

5. 研究組織

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究代表者： 産科・婦人科 楠真一 准教授

共同研究機関名：倉敷中央病院

研究責任者： 産婦人科 黒田亮介

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部産婦人科学教室および倉敷中央病院で厳重に管理します。研究結果を学会・論文等で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究はご希望があれば、研究結果について当該機関の研究者等の判断の下、原則、研究対象者に開示します。また、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

産科・婦人科 准教授 楠 真一

043(222)7171 内線 5312